

令和4年度 中高生向け災害ボランティア特別講座

～若い力を地域の復旧・復興に～

～災害につよいまちづくりと、平時から顔の見える関係づくりをめざして～

近年、全国各地で災害が頻発し、甚大な被害が発生しています。2022年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、福島県を震源とする地震で被災された地域の災害ボランティアセンターでは、県外からの支援の受入れも困難な状況で、これまでの災害支援のあり方では対応が困難な状況となっています。

コロナ禍で発災した場合や大地震により複数府県が被災した場合など、県内の災害ボランティアで被災者の復旧復興に対応しなければなりません。このため、災害ボランティアの確保と平時から関係機関の顔の見える関係づくりなど、県内の災害ボランティア体制づくりが必要になっています。

本講座は、災害ボランティア活動について理解を深めるとともに、平時から防災・減災ボランティア活動を通じた災害時にも支え合える地域づくりを推進することを目的に開催します。

1. 主催 社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会 / 奈良県

2. 後援 奈良県教育委員会

3. 対象 中学生、高校生、中学教諭、高校教諭

①中高生向け災害ボランティア特別講座：学生は10名以上の参加を想定しています。

②教諭向け災害ボランティア特別講座：5名以上の参加を想定しています。

※災害ボランティア活動の理解を深めるため、先に教諭向け講座の受講を推奨します。
先に中高生向け講座の開催も可能です。

4. 期間 令和4年6月1日（水）～令和5年2月28日（火） / 1回あたり60分～90分程度

※新型コロナウイルスの影響により、開催日程について調整・相談する場合があります。

5. 会場 各申し込みの学校が指定する場所（奈良県内に限る）、オンライン講座（Zoomミーティング）
※原則、講師（数名）が直接学校へ伺い講座をすることを前提としますが、ICTを活用した講座（オンラインで、本会事務所と教室をつなぐ）の対応も可能です。

6. 講師 災害ボランティア活動、防災・減災活動の実践者

（奈良防災プラットフォーム連絡会参画団体、奈良県災害ボランティア登録者等）

※申し込み時に各申込団体と相談させていただきます。

7. 費用 講師謝金・旅費については、社会福祉法人奈良県社会福祉協議会（以下、「県社協」という。）の規定に基づき、県社協が負担します。なお、会場代、会場設備代については、申込団体にてご負担ください。

8. 申込 別添の申込書により開催希望日のおおむね90日前までにお申し込みください。
後日、具体的な開催について県社協より確認と調整のため、連絡いたします。

9. 申込・問合せ先

社会福祉法人奈良県社会福祉協議会 総合ボランティアセンター（担当：田中・松尾）

〒634-0061 橿原市大久保町320-11

県社会福祉総合センター2階（奈良県総合ボランティアセンター）

TEL：0744-29-0155 FAX：0744-26-0234

E-mail：nara-vc@nara-shakyo.jp <https://www.nara-shakyo.jp>

10. 内容<例>

○教諭向け災害ボランティア講座(例)

時間	内容
60分～90分	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとは(自主性・社会性・無償性) ・災害ボランティアについて(自助・共助・公助) ・被災地での災害ボランティアの役割、実際の活動状況、活動への参加方法 など

○中高生向け災害ボランティア特別講座(例)

・ホップ(災害ボランティア基礎知識編)

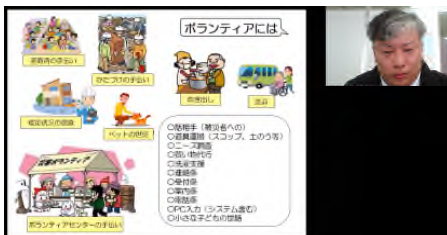
時間	内容
15分	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアとは(自主性・社会性・無償性) ○災害ボランティアについて(自助・共助・公助)
35分	<ul style="list-style-type: none"> ○災害ボランティア活動について ・被災地での災害ボランティアの役割、実際の活動状況、活動への参加方法、心構えなど ○防災・減災ボランティア活動について ・平時における災害への備え、防災・減災ボランティア活動の紹介 など

・ステップ(災害ボランティア事例検討ゲーム編)

時間	内容
15分	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアとは(自主性・社会性・無償性) ○災害ボランティアについて(自助・共助・公助)
35分	<ul style="list-style-type: none"> ○災害ボランティア体験ゲーム ・災害ボランティア、避難所などで起こりえる事例検討について話し合います。

・ジャンプ(災害ボランティアワークショップ編)

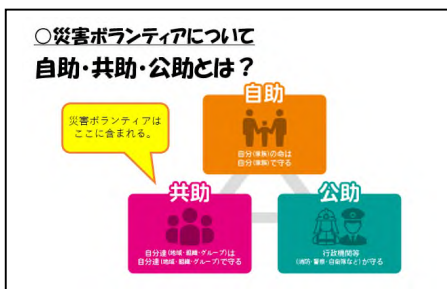
時間	内容
15分	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアとは(自主性・社会性・無償性) ○災害ボランティアについて(自助・共助・公助)
35分	<ul style="list-style-type: none"> ○災害ボランティアワークショップ ・模擬災害ボランティア体験を行い、自分達でできることを考えます。



イメージ：ホップ編(ICTを活用した講座)



イメージ：ステップ編、ジャンプ編(集合型講座)



イメージ：講座資料

1, 災害復興支援の考え方

被災者中心！被災地本位！

泥をすくうのではなく、心を救う！

災害VGO「絆」代表 前原士郎さんの講演録から引用

★第一章 災害に備える

1, 日本は“災害大国”です！

日本に住んでいる限り、「いつ、地震・火山・台風・洪水・土砂災害に遭遇しても不運ではない」と言われていることを知っていますか？

考え方として大事なものは、どこで大規模災害に遭遇しても、**“自分の命は自分で守る！”**

という気持ち(心がまえ)と、大規模災害発生時には、みんなが**“助け合う”**ということを、心に刻んでおきましょう

では、日本が災害大国というその理由は・・・

※これらについては、組み合わせ可能です。ご相談ください。

令和4年度 中高生向け災害ボランティア特別講座 申込書

社会福祉法人奈良県社会福祉協議会 御中

下記のとおり、実施したいので申し込みます。

ふりがな	
学校名	
所在地	〒
連絡先	TEL : FAX : E-mail :

講座について（下記1～4を記入ください。）

1. 希望日時

第1希望 _____年____月____日（ ）午前・午後____：____～____：____
第2希望 _____年____月____日（ ）午前・午後____：____～____：____

2. 開催場所（団体名・所在地と同じ場合は、その旨ご記入ください。）

名称 _____
所在地 〒 _____

3. 対象者

_____（ ）名程度予定

4. 希望内容（裏面の内容＜例＞を参考にご記入ください。）

※本申込書に記入された個人情報は、講座開催の目的のみに利用させていただきます。

記載にあたってご不明な点は、お手数ですがお問い合わせをお願いいたします。

申し込み ⇒ FAX : 0744-26-0234 (添書不要)

⇒ e-mail : nara-vc@nara-shakyo.jp

(TEL:0744-29-0155 日祝除く 8:30～17:15)